

あと、太さ11ミリ、長さ20メートルくらいの丈夫なロープと丈夫なC環またはカラビナ。それを枝にかけるための竹竿が使わなくなった釣り竿。釣り竿は穂先は外して一番先にS字フックつけておく。

③作業手順の確認

山林と違って庭木でやっかないのは家屋や電線があること。

木って思ってる以上に重いから、小枝ひっかけたくらいでも電線切っちゃうし瓦どころか軒ぶっ潰すこともある。だから枝ぶり見ながら先にそういう障害物確かめておく。

絶対に倒れてほしくない側に倒さないためのロープや倒したい方向に向けて引っ張るロープをどうかけるか、そして切った枝をどこに運ぶかも先に考えておこう。

倒れ始めた木の幹や枝が隣の木に接触したり絡んだ場合倒れる方向が変わったり隣の木によっかかかってしまうこともある。

だから、自分の逃げ場所を決めておくこと。それからね、なかなかかどらなくてもあせらないこと。

冬は枝も芽も伸びないから、枝切るたびに、木の変化する姿を楽しむくらいのゆとりもってやってみて。達成感、後々感じられるように、立つ場所決めて時々写真とっておくのもいい。

さあ、切るぞ

あのね、今回はとにかく脚立作業や木に登る高所作業はやらないで切ってみるからね。理由は登らなけりや落ちてケガすることないから。

まずは剪定鋏と剪定鋸を使って届く枝みんな切る。隣の木の枝も邪魔になるなら切つてね。

で、ここであせらず熊手で枝かき集めて決めた場所へ運ぶ。

次は太枝鋸で切れる枝と高枝鋸で届く枝を切る。

少し休んで、木を眺めてみて。場所をかえてもう一度。

そしていよいよ幹を切るんだけど、木の重心っていうかもし根本で切ったらこの木どっちに倒れるかなってよく考える。

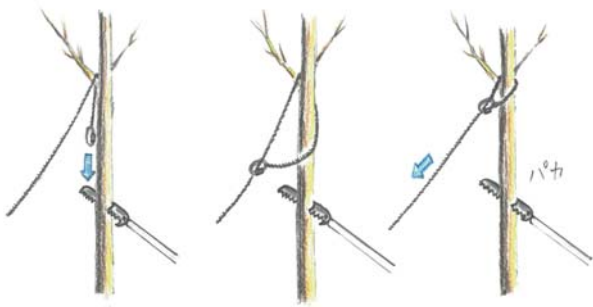
倒れそうな方向がはっきりわかって、その方向に屋根とか電線みたいな障害物なければ

ばそのまま幹を切り初めていい。

そのまま倒せばヤバイって時は高いところから高枝鋸使って切り下げる(図)。

途中で鋸が動かなくなったって時、いよいよ竿とロープとC環の出番。

図みたいにロープの先端にC環ゆわえて竿先のフックに引っかけ、鋸より上の枝にロープをかける。C環にロープを通して動かなくなった鋸の切り口が開くようにロープを引く。



ロープとC環を使ったノコギリの救出

次回はもう少しやっかいな木切ってみるからね!



あせらず
少しずつ...

枝は片付ける!



講師紹介 いのうえ まさてる 井上 雅央氏

1949年、奈良県出身。

愛媛大学大学院農学研究科修士課程修了、京都大学博士(農学)。

元農研機構 近畿中国四国農業研究センター鳥獣害研究チーム長。

退職後、同センター専門員。宮崎県、熊本県、広島県、静岡県などで

アドバイザーとして継続的に活動。

著書に、『それならできる獣害対策』『山の畑をサルから守る』『山と

田畑をシカから守る』『60歳からの防除作業便利帳』『ハダシ』『女性

がすればずんずん進む獣害対策』(いずれも農文協)など多数。

